

JARL 香川クラブ報

No. 343 平成17年10月15日

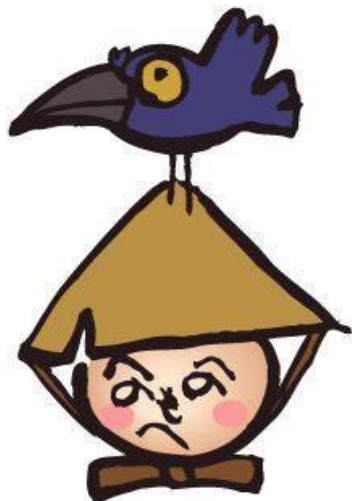


J A 5 Y D E

クラブミーティングのご案内

朝夕、肌寒いくらいひんやりとして、過ごしやすい季節になりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

今年の夏は、早くから水不足に悩まされましたが、たいした不自由をすることもなく、早明浦ダムの水も満水になり、ホッとしました。我が家でもポリタンクを2つ程用意しましたが、使われることなく無事に渇水の時を過ぎ何よりです。

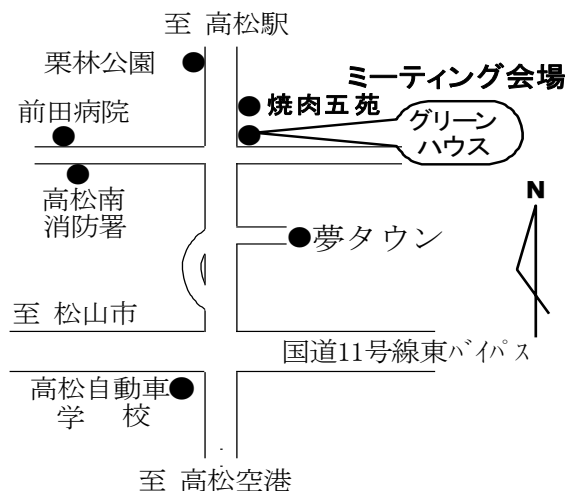


昨年は台風の大雨に悩まされ、今年は渇水に悩まされ、自然の怖さというものをつくづく感じさせられました。この先にも、どんな災害が待ち受けているかわかりません。いざと言うときの為に防災グッズの準備の必要性を感じさせられます。まだ、台風の季節が終わったわけではないので、十分注意したいと思います。

ところでここ数年、一年が過ぎるのが、早く感じられるようになってきました。今年も気が付けば、残すところ3ヶ月を切りました。今年最後のクラブ行事である忘年会、香川マラソンコンテスト等について打ち合わせをしたいと思います。年末に向けて、何かと忙しくなってくるかと思いますが、ご出席宜しく願いいたします。

記

- 日 時：11月9日（水）19：30～
場 所：グリーンハウス（東ハゼ店）
内 容：1）香川マラソンコンテストについて
2）ARDF北四国大会について
3）忘年会について
4）その他



（表紙の写真は JARLNEWS の秋号や CQ 誌にも記載されていますのでまた見てください）

災害対策訓練について思うこと

d e J A 5 A H M

高松市役所から、震災対策総合訓練に参加してほしいという連絡があった。三好副会長と相談した結果、参加することにした。

高松市内には多くの登録クラブがあり、J A R L 香川クラブが独占的に訓練に参加するよりも、幅広く訓練の経験をした方がよいと思い、森国支部長にもお願いして、この3年間は他のクラブにも参加してもらっていた。

しかし、登録クラブといっても訓練のみならず、イベントなどの大きな行事はほとんど我がクラブが主体となって行動してきた実績がある。それは、我がクラブの存在と実力が対外的に認められているということで、喜ぶべきことでないかと思う。

8月21日の訓練本番に向けて、6月と7月にそれぞれ1度ずつ打ち合わせ会が市役所で開かれた。今回の訓練参加は26の機関と団体で、ほとんどの機関が職場から仕事として派遣された人達である。我々はボランティアとしての参加であり、以前から休日に開催するように希望していた。

それは我々が参加しやすいということだけではない。住民参加の訓練であるということや、災害が休日に発生するとは思わないが、訓練にはできるだけ多くの人が参加できた方がよいと思うからである。

今回は、仏生山地区の住民700人余りの参加のもとに実施されたが、過去の参加経験から、平日の訓練はどちらかといえば、専門職が重点的であったように思う。今回、専門職の四国電力からは訓練参加の辞退があった。

当日は朝から雨模様で、実施できるかどうか気をもんだが、中止の連絡がなかったので会場へ向かった。

J A R L 香川クラブの出番では、三好副会長の作成したシナリオが場内に放送され、訓練の電文により、災害現場から災害対策本部への報告と要請の交信が行われた。

非常通信訓練は、電文の内容もしっかりしており、オペレーターの交信もスムーズにできて、J A R L 香川クラブの持ち時間は立派に消化することができた。



市役所に対する訓練の実施方法については、まだ多くの点で改善すべきところがあると思う。最近、日本列島にも災害が多く発生しているが、香川県には少ないと思っていた。しかし、香川県も例外ではなくなったように思う。

高松市にも常設の災害対策室を設置し、やっと災害に備える行動をとるべく準備ができているようだ。

アマチュア無線局にも協力を要請されているが、今の状態では市役所としてアマチュア無線に対する体制ができていないことを指摘し、市長や市議会長にも早くから対策を要請していた。先日の打ち合わせ会議の席で、災害対策室長から、来年度は本庁舎にアンテナ設置の予算要求をするとの公言を得た。

日本列島では、次々と災害が発生している。高松市においては、昨年大きな水害に見舞われた。予測できない災害には、常に備えておかねばならないと思っている。

“目からうろこが・・・”

de J I 5 X T P

誰かさん : 「やっぱり雨になったなあ～」

UAA さん : 「そら、あめになるでえ TOP さんが行くけん」

XTP : 「知ちゃんの若いパワーで TOP さんと勝負して雨をとめてみい」

知ちゃん : 「私がいくらパワーを出しても TOP さんにはかなわんと思うよ」

XTP : 「なんでえ」

知ちゃん : 「いつの日か、今まで雨が降ってなかった時、TOP さんに電話したとたん雨が降り、電話を切ったとたんにやんだから。私のパワーなんか、なんの役にもたたんとおもうよ」

XTP : 「嘘のような話やな」

知ちゃん : 「ほんまの話なんで」

松山市で開催される「四国地方 A R D F 競技大会」に行く車中での会話。あれこれ話し込んでいるうちに車は松山市内に入っていた。途中で話題の主の T O P さんと合流し、A R D F 会場の松山市野外活動センターに向かう。雨は一段と激しく降るようになったように感じる。会場に行くまでの山道は相当な上り坂であり、今日の競技は雨の中での気温の低い、そして高低差のある厳しい戦いになりそうである。

会場に着くと 4 エリアと 6 エリアの常連さんが居たので一通りの挨拶を交わし、検討を誓い合う。

私たちは、受信機を組み立て競技用の服に着替え受け付け会場へとすすむ。ゼッケンと資料を受け取り自分のスタート時間をみると 6 組の最終組である。私の一番嫌いなスタート順である。私は 1 組と最終組が嫌いで、1 組は誰もいないスタートで最終組は後ろに誰もいないので、なぜか競技中に心細くなるのである。

1 0 : 3 0 から各組がスタートをしていく、私は最終組の 1 0 : 5 5 スタートである。

スタートラインに立ち競技エリアの地図を受け取り、道路と川にピンクとブルーの蛍光ペンでマーキングを着ける。マーキングをつけると地図見の苦手な私にもわかりやすい地図に変身をする。これは Y L の I C B さんから教わった私の競技マニュアルの 1 つである。

競技エリアは円を四つ切りにした扇形で攻め方を間違わなければ結構うまくいくんじゃないかなと思いつつスタートをする。

受信開始地点で各 T X の信号を受信すると 4 T X と 2 T X が非常に弱く、相当遠くか又は低地に設置しているのだろうと競技歴の浅い私にも容易に判断ができた。まずは強い信号を発している 5 T X を目指して走り始める。受信機の受信強度は A T T のダイヤル目盛り 4、約 4 0 m 強の位置に 5 T X があるはず、(私の受信機には A T T の目盛りの数字にあわせて T X までの距離を一覧表にして受信機の下部にはってある) 道の東方に舗装の途切れた登りの山道があったので一目散に駆け上がる、1 5 m 位登ると行き止まりであった、「しまった、一つ手前を登ってしまった」とつぶやく。いつもだと失敗に気づかず何の確信もなく近辺を走り回るが今日は違っていた。もう一度信号を受信し、まだ距離があることを感じ、登ってきた山道を駆け下り、次の 5 T X の信号が聞こえるまで先に移動すると境内の近くで強力な 5 T X の信号を受信する。境内に駆け上ると紅白のフラッグが目にとまる、すぐパンチを押し時計を見ると 1 9 分 3 0 秒で捕獲。幸先の良い時間帯である。3 T X と 1 T X は迷うことなく探索・捕獲ができ、残すは 4 T X だけになった。1 T X から 3 T X に引き返し、その近辺で 4 T X の信号がでるのを待つ

こと2分。信号が発せられると同時に方向を定め、なだらかな坂道をひた下る。小学校の前の道からすこし脇に下った低地に4TXを設置していた。やはり受信開始地点の信号が弱いはずだ。時計を見るとまだ1時間を切っている、ひょっとするとひょっとするかもしれないと甘い考えをいだき一目散にゴール地点を目指す、スタート地点から下ってきただけ登らなければならない。ぜいぜいと息を切らしながら走ったり歩いたり、繰り返しのし、やっとの思いで給水地点にたどり着き水を1杯頂き一息で飲み干す。そして、呼吸を整えまた歩いたり走ったりの繰り返しのしながらゴールを目指す。

帰路の途中MEDさんに抜かれ、しばらく同走するが年齢の差は追走を許さず、みるみるうちに彼の後ろ姿が小さくなり消えてしまった。

スタート地点とゴール地点の位置が離れていたのも途中でコースを変えハイキングコースに入る。歩けど歩けどゴールが見えてこない。コースを変えたのが失敗かなと思ったが引き返す時間が無駄になるので、登り続けるとアスレチックコースにぶつかった。すこし脇に回り込むとキャンプ用のテントが見え、テントの奥にゴールの野外活動センターが見えたので今までの疲れが吹っ飛び、その建物を目指し走り始める。ゴールの進入コースに入りゴールラインになだれ込み、ストップウォッチのボタンを押すと1時間17分を指している。4TXから20分くらいかかったのだろうか、初参加の第11回北四国ARDF競技大会の大洲富士山同様、高低差のあるコースに苦しめられた。



あとがき

この大会前にMEDさんをはじめとするOM諸氏が練習会を開催してくれ、TXの置き方、アンテナの向きで受信感度、受信強度がどのように変化するかを勉強させていただきました。

TXから15m位離れたところでTXのアンテナを回してみたり、置き方を横にした、下に向けたときなどの受信感度、受信強度の違い、私の受信機はアンテナを正面にしたときと45度回したときでATTの目盛りが1目盛り違いました、距離して約15mから20m位の違いになります。

また、探索練習でTXの設置場所にフラッグを置かない時の探索方法、TXの近くに居てもTXから信号を発していなかったらTXを見つけることができない難しさ。競技中、TXの近くでは信号を聞きとって探策をしているのではなく、廻りを目で探りながらTXを探索していた自分を再認識しました。また、TXを探策中、地図上で自分のいる場所の確認などの練習をさせていただき“目からうろこが落ちた”練習会でした。

今回の四国地方ARDF競技大会で初優勝ができたのは、このような練習会を企画・開催をしてくださった関係者諸氏のお陰だと感謝をしております。本当にありがとうございます。

その夜、金メダルをシャックに飾り、メダルを眺めたりメダルの重たさを実感したりして感激に浸りながら一人ビールで祝杯をあげたのはいうまでもありません。

TOPさん、車中で話のネタにして申し訳ありませんでした。次回も是非一緒してください。(晴れたらいいね)

製作技術講習会に参加しました

d e J G 5 O B X

皆さん こんにちは JG50BX 丸山です。
先日 9月 11 日に製作講習会がありました。当局も参加しました。今日はその潜入レポートです。

今回は周波数カウンターをつくりました。
当局が会場に到着したのは遅れること約 30 分。着くと皆さん、もう製作にとりかかってました。託間 OM に参加費を払いキットをもらい早速作り始めました。回路の説明等もう済んでるらしく、回りをみると、皆黙々と、部品を基板にとりつけてます。隣の OM が、「小さい IC を最初につけるとよい」と教えてくれたので、これから始めます。

最近小さいものが見にくくなってきました。(これが老眼です) 抵抗、コンデンサ、トランジスタ、IC と取り付け完成です。表示 LCD を接続して電池をつなぎます。この瞬間がドキドキです。表示しました。

講師の所へ持って行き動作の確認です。カウンタの数字がおかしい。430M 帯で 20M 低く、144M 帯で 2 倍の数字がでます。当局だけかなと思っていたら、次々と同じように表示のおかしい人が現れたので、少し安心。

結局、参加した人の 3 分の 2 が動作不良でした。色々やってみましたが、直りません。この時になって、初めて回路図をまじまじと見ました。講師の方も原因わかりません。話合いの結果、講師の方に渡し、直してもらうことになりました。多くの人が動作不良だったので、どこか根本的な原因があると思ってましたが……。



後日談ですが、キットにつきましては、講師の方が直して送ってきました。カウンタの IC に入る前の波形が乱れていたのが原因です。「動作をしないとなぜだろう」と、色々考えていいのかなと思います。そんなこともあり、皆でわいわい言いながら、作るのも楽しいものです。

今回のような最先端のデジタルの製作もいいのですが、機会があれば原点に戻って今話題のゲルマニウムをふんだんに使った、ゲルマニウムラジオを作ってはいかがでしょうか。肩こりもなおるかも。そして無から有を作る楽しみを、ぜひ味わって下さい。それでは、またお会いしましょう。

講師の方及び、今回製作講習会にご尽力いただきました皆さんに、感謝申しあげます。ありがとうございました。

参加者： J H 5 E Z B ・ J H 5 L Y W ・ J F 5 M E D ・ J G 5 O B X ・ J G 5 W T P

北四国ARDF競技大会のご案内

香川・愛媛両 J A R L 県支部合同の「第13回北四国 A R D F 競技大会」を下記の通り開催いたします。

今回は比較的近いところで開催されますので、ぜひたくさんの方の参加を期待しております。

記

- 日 時** 平成17年11月20日(日) 午前9時より受付
- 場 所** 香川県綾歌郡綾上町付近(後日参加資料送付)
- 参加資格** J A R L 会員・非会員を問いません。
- 参 加 費** 1500円
- 競技方法** J A R L 制定の A R D F 競技実施法による。
- 周 波 数** 145M h z 帯(当日指定)
- 参加部門** W 1 9、W 2 1、W 3 5、W 5 0
M 1 9、M 2 1、M 4 0、M 5 0、M 6 0 の各クラス
- 申込要領** 氏名、コールサイン、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、参加クラス、当日の弁当の要・不要を記入した申込書と S A S E (自分の宛名を記入した封筒に80円切手を貼った返信用封筒)に、参加費と弁当要の方は弁当代金を含め2100円(不要の方は1500円)の定額小為替を同封し下記まで申込み下さい。
- なお、中止以外は参加費の返金を行いませんのでご了承下さい。
- 申 込 先** 〒769-0101 香川県綾歌郡国分寺町新居384-11
詫間 哲方 北四国 A R D F 大会係
TEL 087-874-4341
- 申込締切** 平成17年11月10日(木)必着



審判募集 審判員を公募しますので、ご希望される方はハガキに郵便番号、住所、氏名、コールサイン、電話番号および審判員資格者証番号を記入して10月31日迄に申込先へ送付して下さい。

☆☆☆ 香川マラソンコンテストに参加しよう ☆☆☆

J A R L 香川県支部主催の「香川マラソンコンテスト」が今年も開催されます。期間は例年どおり 12 月 1 日から 15 日までの 15 日間です。年末のお忙しい時期ではありますが、「お空の上での忘年会」「普段ご無沙汰されている方へのごあいさつ」「R i g や A n t のチェック」とそれぞれ理由をつけられて、自身のアクティビティー向上のためにも奮って参加しましょう。そして、みんなでアマチュア無線の活性化に努めましょう。

詳細は「J A R L NEWS 秋号」を参照するか J H 5 L Y W 三好 O M までお問い合わせください。

(一部市町合併でマルチが変わった所がありますのでご注意ください)

☆☆☆ 記念局 8N5 I C T の運用 ☆☆☆

“地域 I C T 未来フェスタ i n かがわ” の開催を記念して J A R L 特設局「8 N 5 I C T」が 10 月 1 日から 23 日まで香川県下一円で運用されております。

特に 21 日から 23 日まではサンポートにある特設局で運用されますので、一般の方（J A R L 会員に限る）も自由に運用できます。J A R L 会員証と無線従事者免許証を持ってぜひ運用に参加してください。

20 日までの運用やその他の詳細については J A 5 M G 稲毛 O M か J H 5 L Y W 三好 O M までお問い合わせください。

J A R L 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール：J H 5 W M N

J H 5 L Y W

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成 17 年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくをお願いします。

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J A 5 A H M	天 野 英 弘
編 集 者	J H 5 L Y W	三 好 伸 幸
	J H 5 W M N	山 口 博 司
	J E 5 P B O	岡 田 光
	J F 5 I C B	向 井 一 恵
	J I 5 X T P	坂 内 信 洋

(今回の編集担当者は J F 5 I C B 向井さんでした)